

私の想い

分館長を拝命して

回想そして私の想い



中沖公民館 分館長
久徳 博文

分館長を拝命して早いもので、九年目（五期目）に入りました。当時は、四十九歳の若さ、父が数年前他界し、後継者として会社経営（建設業）に社員一丸となり、取り組んでいた折でした。総会での突然の指名に、当然躊躇しました。年は若過ぎるし、現役真只中、時間が取れるか？分館の為に手伝い出来るか？迷惑を掛けるのでは？と青天の霹靂でした。でも、現役引退後、何れ分館や町の為に役立ちたいとの時期が早くなっただけかと思ひ直し、分館役員、社員の協力態勢、家族の後押しを貰いリリーフ登板の意味も含め、お引き受けし再び総会で承認を戴きました。引継ぎ後は、故上村前分館長のリーダーシップのもと、纏め上げられた組

織、行事の多種多様さに敬意を表すと共に、逆に又不安を覚ええました。唯、その組織の役員の方々には経験豊富なため、一期目（二年間）から親身に手助けして頂き感謝しました。それからの縁で、現在も役員として御協力戴き、申し訳なく思っている所です。これから、分館長を拝命してからの回想をしたいと思います。

一期目は、前分館長のレールを歩き役員の方におんぶに抱っこで、二期目からは、組織に力を入れて様々な役職の方々に分館役員になって頂き、今では、約五十名の役員で構成されており、知り得た情報は少しでも報告し共有出来るよう、会合も出席をお願いしております。活力ある分館活動を行うには、役員、校区民が、同じ目的同じ方向に向かうよう手助けが大事です。

三期目は、様々な行事に利用できる芝生広場が新設され、子ども達のキャンプ場やグラウンドゴルフ場としても利用され、時々高齢者の方々のふれあいの場となっております。世代を超えた校区民の親睦の場として、相集い笑いの聞こえる広場と成る事を祈っています。

四期目は、公民館敷地の舗装で、溜り水や草刈などが軽減され、大変便利になりました。この場を借りまして、町当局や議会の御配慮に御礼を申し上げます。ユニークな子どもたちによる夏祭り開催の、立ち上げも出来ました。

分館長を経験して今特に思うことは、人間力「人の心を動かし引き寄せる力」が必要であると言う事です。人が社会で生きる為に必要な総合的能力でもあります。その人間力を高める為、大事にしている言葉があります。それは「おこるな・いばるな・あせるな・くさるな・まけるな」の五項目で、頭文字を繋げて『**おいあくま**』と称し、弱い心になる自分を戒めます。確かに、怒れば周囲の雰囲気は萎縮し、威張れば周囲からの反発が生じ、焦ればミスが生じやすくなります。さらに、腐れば消極的になります。負ければ自信喪失に繋がります。

今後もこの言葉を、未熟な自分に問い掛けながら五期目の分館活動に邁進して行くつもりです。皆様方の御協力をお願いいたします。

編集後記

先日の【住民と議会と語る会】のご参加ありがとうございました。今後とも議会に対しまして、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。参議院選挙も終わり、ねじれ国会は解消されるのではと思います。国民生活に大事な法案は、早く通過してもらいたいものです。

今頃になると思い出すのが、子供たちの部活でハードな練習後の疲労回復のために、祖母が教えてくれた酢卵の事です。学術的に効果の程はわかりませんが、今でも母親にせがんで飲んでいるみたいです。

町政にも皆様が楽しく、元気に暮らせる秘策があればと思います。まだまだ暑い日が続きますが、くれぐれもお身体にはご自愛ください。

今後も皆様が議会だよりを楽しみに待つて下さるような、紙面の充実に広報委員一同努めてまいりたいと思います。

（広報広聴常任委員 小園 孝一）

発行責任者

大崎町議会議長

中倉 毅